

(2022年5月25日)

5月25日ヘッセン州首相官邸にて行われた授与式においてフォルカー・ボフィエー首相から勲章が授与されました。本勲章は民間人を対象とする等級では最高位のものであり、正式な授与者はドイツ連邦共和国大統領になります。

受賞理由としては、日独産業協会を通じた日独交流への貢献、フランクフルトで毎年開催される日本映画祭「ニッポン・コネクション」への支援、フランクフルト経済開発公社でのアジアコミュニティ向けビジネスアンバサダーとしての取り組みなどが評価されたものです。さらに、バイロイト友の会、ゲオルク・シュパイヤー・ハウス、パウル・アーリック財団への貢献も評価されています。

ヴィースホイは、B.メッツラー・ゼール・ゾーン&Co. AG (以下「メッツラー銀行」)のエグゼクティブ・ボード・メンバーですが、同時に数多くの団体にボランティアで参加しています。「メッツラー銀行は、ゲアハルト・ヴィースホイ氏の知識と人柄から業務の上で多大な恩恵を受けていますが、彼の取り組みは、仕事場を遥かに超えています。フランクフルトからバイロイト、東京へ、文化からビジネス、科学まで、長年にわたって精力的に取り組んでいます。」と、同じくドイツ連邦共和国功労勲章を受章した11代当主フリードリヒ・フォン・メッツラーは述べています。ヴィースホイが常に大切に心がけてきたことのひとつは、多様な人々の交流を促すことにありました。

ヴィースホイがとりわけ日本とドイツの関係に注力するには個人的な事情も関係しています。すなわち、日本での仕事と生活の経験もあり、日本人女性と結婚し、2人の子供がいます。日本滞在を通じてその生活様式や文化の価値を正しく認識することを学びました。日独経済関係者の交流組織としては日独最大級のビジネスプラットフォームである日独産業協会(DJW)において2009年から活動を始めたヴィースホイは2011年から同協会理事長を務め、日独経済交流の架け橋として活躍しています。また、アジア全般についても幅広い専門知識を擁することから、ドイツ政府および複数の閣僚によるアジアへの出張に代表団の一員として何度も帯同した実績があります。

直近では2022年4月にオラフ・ショルツ 独首相の訪日に同行しました。

ヴィースホイは日独間の知識交流を促進するため、ベルリン日独センター評議会の議長として重責を担っています。同センターは日独の専門家を集め、人口動態の変化、持続可能性、環境など、国際的に関連性の高いテーマで定期的に科学シンポジウムを開催しています。フランクフルトにあるゲーテ大学東アジア学際センターの理事や、フランクフルト日独協会の諮問委員も務めています。

海外での日本映画祭として最大級規模を誇る「ニッポン・コネクション」(フランクフルト)は、彼にとっても思い入れのあるプロジェクトです。17年前、彼が主導してメツラー銀行との関わりができました。そのおかげで、すべてボランティアで運営されているこのフェスティバルが、学生プロジェクトから国際的に高く評価される文化イベントへと発展することができたのです。

ヴィースホイはまた、2006年からバイロイト友の会にも参加しています。2013年から理事長を務め、2021年から名誉会員に。ここでも、リヒャルト・ワーグナーの芸術的遺産を守り続ける協会のために、彼の幅広い人脈が活かされています。

他方でドイツにおける科学振興にも力を注いでいます。例えば2015年からは、ゲオルク・シュパイヤー・ハウス研究所の評議員会会長として、腫瘍研究の進展に尽力しています。また、優れた科学分野を表彰するベルリンのポール・エーリック財団の評議員も長年にわたって務めています。さらには、科学、ビジネス、宗教、文化の対話を促進することを目的とした「ヘッセンサークル」にも参加するなど、超党派で独立した活動を行っています。

もちろん、金融センターであるフランクフルトやライン・マイン地域の銀行業界も、彼の持続的な取り組みから恩恵を被っています。例えば、フランクフルト経済開発公社ではアジア系コミュニティのビジネス大使を務め、フランクフルトラインマイン国際投資促進公社では諮問委員会メンバーとして、その人脈とノウハウでラインマイン地域を精力的に支援しています。また、マーケティング・クラブ・フランクフルトでは、評議員会のメンバーとして、専門家相互の交流の場を創設することに貢献しています。

2020年10月にはフランクフルトマインファイナンス理事長に就任。2008年に始まった金融センター構想は、フランクフルトを国内外においてトップクラスの金融センターとして位置づけ、プレイヤーの強みを束ね、立地をマーケティングすることを目的としています。

業務履歴としては、2001年からメツラー銀行に勤務し、アセットマネジメント事業部門の責任者を務めています。加えて、メツラー・ペンションファンズAGの監査役会議長、海外のグループ会社のメツラー・アセット・マネジメント株式会社、メツラー・ペイデントLLCの取締役会メンバー等も務めています。

メツラー銀行入社以前は、フランクフルトのコメルツ・インターナショナル・キャピタル・マネージメント社(CICM)でマネージング・ディレクターを務めていました。1994年から1999年まで、CICM日本現地法人(コメルツ投信投資顧問株式会社(東京))の責任者でした。

この間、日本投資顧問業協会（東京）の理事も務めていました。

1987年、ランツフト応用科学大学で経営学を学び、同大学を卒業。

1987年から1989年までデュースブルグ・エッセン大学大学院で東アジア経済学を修めています。



右： ゲアハルト・ヴィースホイ

左： フォルカー・ボフィエー（Volker Bouffier、ヘッセン州首相）

以上

(R22-023)